

リアルタイム
洪水予測システム

RiverCast

「いつ」、「どこで」、「どれくらい」を リアルタイムに 15時間先まで予測！

1 安価かつスピーディーに導入可能

必要データは
これだけ！

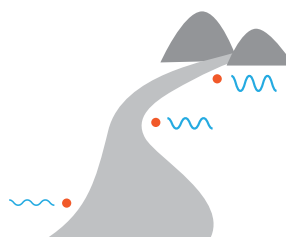
気象庁のメッシュ雨量データ



水位計測データ

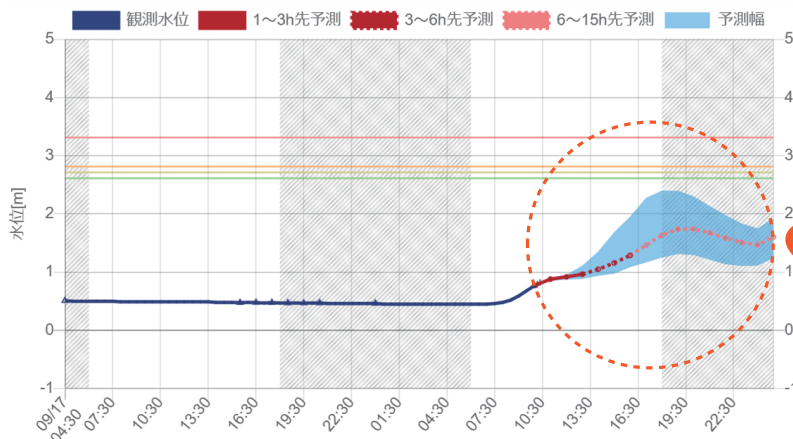


広範囲計測



ポイント計測

2 Webで“いつでも どこでも”閲覧可能



水位・雨量グラフ

Point!

予報雨量の誤差を考慮し、
水位予測結果を確率表示

水位・雨量履歴表						超過確率			
2020/07/14 00:30 現在	年月日	時刻	時間雨量 [mm/hour]	累積雨量 [mm]	水位 [m]	水防団待機	はん雲注意	避難判断	はん雲危険
予報雨量 予測水位	2020/07/14	06:30	6.9	176.6	2.08	100%	100%	100%	7%
		05:30	15.4	169.7	2.05	100%	100%	89%	5%
		04:30	10.3	154.3	1.82	100%	75%	54%	0%
		03:30	6.7	144	1.75	100%	58%	40%	0%
		02:30	10.8	137.3	1.67	100%	43%	23%	0%
		01:30	9.3	126.5	1.52	100%	5%	2%	0%

超過確率表

Point!

基準水位に対して、
1時間~15時間先までの
超過確率を算出

3 情報を逃さない、安心のメール配信サービス



定期通知メール

毎日任意の時刻に、観測水位・予測水位情報をメールでお知らせ

配信時刻を60分刻みでご指定可能

活用例

- ・毎朝、現場に向かう前に
- ・定例会議の前に
- ・日々の安全管理として



アラート通知メール

任意の判定水位の超過を予測した場合に、その旨をメールでお知らせ

予測結果が更新される30分間隔で配信

活用例

- ・出勤待機の心づもりに
- ・現場での作業中に
- ・見逃しをしないように

洪水対策の意思決定を

迅速、適切に

行うことができます



浸水対策

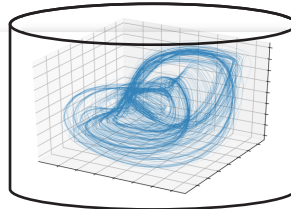
態勢判断

避難指示

対策費用

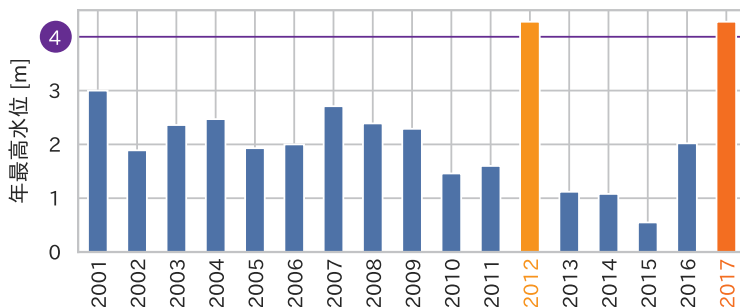
4 最先端の数理工学技術による、高精度な予測モデルの構築

東京大学との社会連携研究部門において共同開発



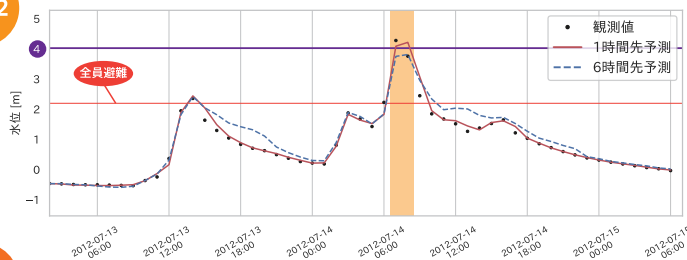
過去データの蓄積により、
変化する自然環境（短期間豪雨の増加など）に合わせて、
観測される水位変動を良好に予測することができます。

例 九州北部豪雨（筑後川水系花月川）

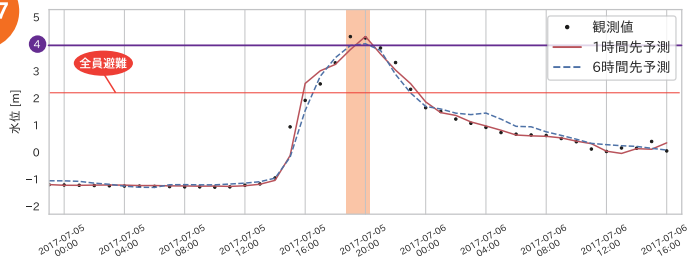


2001年以降のデータをモデル構築に利用
雨量は実測値を使用

2012

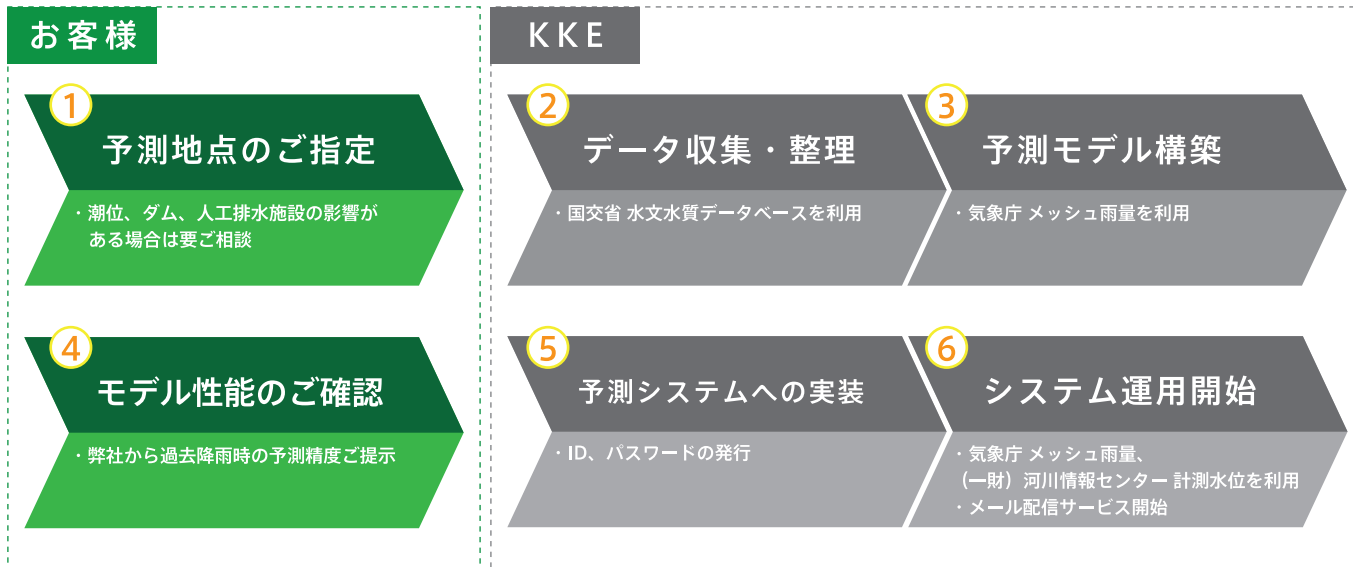


2017



導入の流れ

測量などの実地調査なしで、すぐに開始！



導入事例

合理的な意思決定を、早期に！

大手ゼネコン

- ・重機の退避
- ・作業中止の判断

判断の決め手となる
ピンポイント情報で助かる！

遊水池管理施設

- ・地下にある重要施設の退避
- ・浸水対策開始の判断

地方整備局 河川国道事務所

- ・既存モデルとの精度比較
- ・水位予測の高精度化

意思決定の後押しになる！
見逃し対策としても有効！

自治体 危機管理部門や河川管理部門

- ・水防活動の事前準備
- ・避難情報発令の参考情報

News

労働災害防止のための ICT活用データベース：登録済
新技術情報提供システム NETIS：登録申請中



<https://www.weather.kke.co.jp/link>

構造計画研究所
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.
www.kke.co.jp

株式会社構造計画研究所 気象防災ビジネス室

〒164-0011 東京都中野区中央 4-5-3

TEL: 03-5342-1252 FAX: 03-5342-1253

Mail: weather@kke.co.jp Web: www.weather.kke.co.jp